

令和2年度 福島県特別支援教育センター教育研究に係る地区協力校訪問の様子

8月3日(月)、特別支援教育センター教育研究「知的障がいのある児童生徒を教育する特別支援学校における各教科の指導充実」に係る地区協力校として、校内研究の進め方や研究を深めるための方策等についての研修を行いました。

各校内研究グループの研究テーマや進捗状況等が異なるため、当日のゴールを「先生方同士の学び合い～自分のグループの校内研究について考えたり深めたりする時間にする」とし、普段の研修日で取り組めないことを共有し、他のグループの取組について参考にしたり分からないことを質問したりする情報交換の場としました。2 学期以降の校内研究に生かすことができればと考えました。

○校内研究で使用する様式を用いて、単元構想をするグループ

学習指導要領などを読み合わせたり、疑問点や不明点を指導主事に尋ねたりしながら取り組みました。



○本校の研究テーマから「深い学び」(田村学 東洋館出版)についての著書を参考とし、子どもたちの学習する姿から「深い学び」のパターンを具体的に整理するグループ

授業での子どもたちの学びの姿で考えたり「深い学び」の学びのパターンに当てはめたりして「深い学び」とはどういった姿なのかを具体的に考え、共有しました。



○学年、学部を越えて同じ教育課程を担当している先生方と児童のビデオの様子を見て話し合いをするグループ

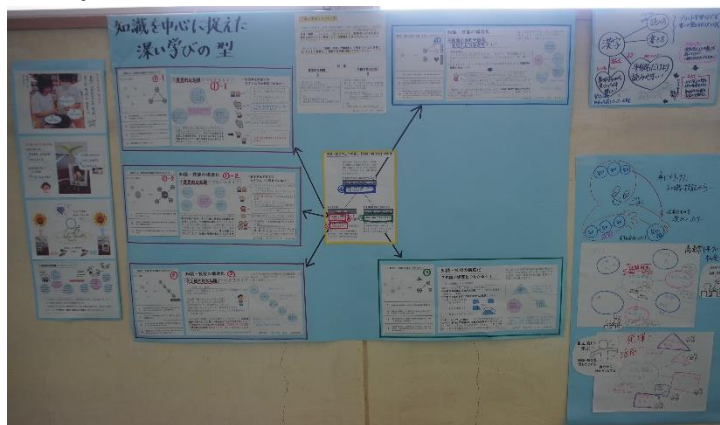
障害の重い児童生徒の思考の姿や学びの読み取り、育みたい力や目指す姿などについて、学部を越えたメンバーで話し合いました。ビデオを見ながらざっくばらんに話し合いすることで、生活年齢の違い、共通点、授業での仕掛けなどについて共有することができました。



○最後に、特別支援センター小暮創史指導主事より、全体のまとめとして、「学び合うために大切なこととして、指導助言をいただきました。

- ・「させられる」から「自分事へ」
 - ・なぜ、何のために
 - ・どんな学校でありたいか・どんな力を育てたいか
 - ・よりよい授業を求めて
 - ・一人ではなく、チームでの対話を通して
- という視点で取り組むことについて話をいただきました。

また、当日の内容を簡単にまとめ、校内に掲示しました。



校内研究の各グループで設定したテーマに基づいて、資質・能力の育成を目指して子どもたちのどのような学びを設定していくか、これからどんな授業づくりをしていきたいか再確認をして、2学期の授業実践につなげていきたいと思ひます。